

NEWSLETTER

ミャンマー企業訪問

UCS Myanmar Co., Ltd. 武藤 Managing Director



UCS Myanmar Company Limited
Address : Building No. 256, Room No. 1010,
10th Floor, Pin Lon Hteik Htar Condo, Pan So
Dan Road, Kyauktada Township, Yangon.
Ph : +95-1-391758
URL : <http://www.ucs-myanmar.com>
E-Mail : info@ucs-myanmar.com

Q UCS Myanmar 武藤様にお話を伺います。
はじめに貴社のご紹介をお願いします。

日本の親会社である「ユニバーサルコンピューターシステム社」は現在47期目の歴史の長い会社です。専門分野に特化し、金融システム等をこつこつと開発してきた堅実経営の会社でして、従業員は約280名おります。システムの会社としては安定した会社ですが、荒川現社長が就任してから先進的な取り組みもはじめ、新規ビジネスへの投資や社内ベンチャーもはじめました。「ユニバーサル」と社名にあるものの新規ビジネスの一つの取り組みとして初めて海外事業への取り組みが開始し、2008年頃に中国の北京へ視察へ行くなどの活動を行いました。2012年にはわたしも海外事業検討グループの一員として、荒川社長と共にベトナムとミャンマーを視察しました。当初はベトナムが進出先としての有力候補だったのですが、ミャンマーへ視察に来てみてこの国の文化に感銘をうけまして、ミャンマー進出の検討が始まりました。例えば道端に公共の飲み水が置いてありますが、だれもいれずをしませんよね、人々が協力しあって生きている姿にも心を打たれたのです。

Q その後具体的にはミャンマーでの活動はどのように進みましたか。

ミャンマーへの進出を具体的に検討する段階でミャンマー人のピョーが日本の親会社へ入社しました。ピョーは現在UCSミャンマーの業務に取って欠かせない存在でありこの時期に彼女に出会ったことは当社にとって大変幸運でした。ミャン

マーでの業務として最初に取り組んでいますのが、ベトナムで日系企業に好評いただいている萬吉ソフトウェアベトナム社の「会計ソフトMKS」のミャンマー語版の販売です。日本語・英語・ミャンマー語の3ヶ国語に対応しており、仕訳入力・元帳管理・財務レポートの印刷などの基本機能や、為替差損益の自動計算・固定資産管理・部門別PL・ユーザー毎のアクセス権限設定などにも対応しています。比較的安価で導入、サポート、保守まで対応していますのでミャンマーでも好評をいただいております。

Q スタッフ育成等、業務の今後のご計画は？

日本で行っているソリューションビジネスをミャンマーでも展開していきたいと思っています。ベトナムのハノイにも拠点を設立中として多方面の展開を探っております。

Q ミャンマーならではのご苦労やそれに基づく読者へのアドバイスはございますか。

個人的には健康管理ですね（笑）環境が日本とは違いますから、そのことをよく認識して最初の段階から駐在者や現地社員がパフォーマンスをあげられる環境整備を行うことは重要だと思います。ただし準備しなくても計画通りに行かないことも多いですので、丁度良いバランスで行いましょう。ヤンゴンへの進出であれば、家賃相場が非常に高くなっており、不動産相場が落ち着くまで様子を見ることも選択肢かもしれないですね。

武藤様、ご協力ありがとうございました。

ミャンマー会計税務 トピック

【資産所得】

オフィスや居住用物件等、家賃相場の高いヤンゴンですが最近よく話題になっているのが家賃収入にかかる所得税です。現時点では外国人が不動産を所有する事ができないため直接は外国人には関係ありませんが、これまであまり家賃収入への徴税をきちんと行われて来なかったところ、家賃収入に対する課税が直近では強化されており、物件のミャンマー人オーナーが家賃を値上げすることで対応しようとする動きが出てきそうです。



Photo by Nakayama